

科目名 成人看護援助論Ⅰ 時間割表記名 成人看護援助論Ⅰ		配当時期 2年次 前期 単位数 1単位 時間数 30時間(15回)	講義担当者 佐々木圭一
事前学習内容 1年次に学習した解剖生理学、看護形態機能学、疾病論、フィジカルアセスメントなどの学習内容の復習 事前配布資料を必ず読んで授業に参加する(用語の説明などが詳細に記載してあり授業内ではその用語をそのまま引用)			
授業目標 1. 看護師の心を獲得し、さまざまな看護実践を経験しながら「できる」看護師に育つための学びができる。 2. 対象の状態の変化に気づき、症状・経過・背景から臨床推論することができる。 3. 臨床推論から、対象の病状を認識し、その後の変化を予測することができる。			
DPとの関連 DP1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的・霊的に統合された生活者として理解することができる。 DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。			
授業の流れ			
回	学習内容	方法	備考
1	1. 物語思考、看護師の心・信念	講義・GW メンタルシミュレーション	テキスト①②③ ④資料
2	2. 看護実践の手続き(看護実践スクリプト)		
3	3. 看護実践能力の言語化・可視化(問題解決技能と運動技能)		
4	4. 患者観察テクニックのツール(パラパラ動画学習)		
5	5. 実行機能と成功する7つの習慣		
6	1. 症状から患者に起きていることへの臨床判断: 息づかいの変化	講義・GW メンタルシミュレーション	テキスト①②③ ④資料
7	(1)呼吸器系疾患(喘息発作)の発生機序と日常生活に影響を与える事象		
8	2. 症状から患者に起きていることへの臨床判断: 顔色の変化 (1)循環器系疾患(心不全)の発生機序と日常生活に影響を与える事象	講義・GW メンタルシミュレーション	テキスト①②③ ④資料
9	症状から患者に起きていることへの臨床判断: 循環の変化 (2)循環器系疾患(心筋梗塞)の発生機序と日常生活に影響を与える事象	講義・GW メンタルシミュレーション	テキスト①②③ ④資料
10	症状から患者に起きていることへの臨床判断: 運動機能の変化① (1)運動系疾患(椎間板ヘルニア)の発生機序と日常生活に影響を与える事象	講義・GW メンタルシミュレーション	テキスト①②③ ④資料
11	症状から患者に起きていることへの臨床判断 (1)消化器系疾患(大腸がん)の発生機序と日常生活に影響を与える事象	講義・GW メンタルシミュレーション	テキスト①②③ ④資料
12	症状から患者に起きていることへの臨床判断: 体液バランスの変化 (1)腎・泌尿器系疾患(腎不全)の発生機序と日常生活に影響を与える事象	講義・GW メンタルシミュレーション	テキスト①②③ ④資料
13	症状から患者に起きていることへの臨床判断: 運動機能の変化② (1)脳・神経系疾患(筋委縮性側索硬化症)の発生機序と日常生活に影響を与える事象	講義・GW メンタルシミュレーション	テキスト①②③ ④資料

14	症状から患者に起きていることへの臨床判断 (2)脳・神経系疾患(脳梗塞)の発生機序と日常生活に影響を与える事象	講義・GW メンタルシミュレーション	テキスト①②③ ④資料
15	症状から患者に起きていることへの臨床判断 (1)生体機能に大きな影響を与える疾患(敗血症、敗血症ショック)の発生機序と日常生活に影響を与える事象	講義・GW メンタルシミュレーション	テキスト①②③ ④資料
受講上の注意 講義の中で、事例を用いて状況をイメージしながら考え、自分の考えを言語化することを繰り返していく。 事前学習、自己学習共に必ず行い日々の講義に臨んでください。			評価方法 課題レポート 講義の振り返り
使用するテキスト ①急変させない患者観察テクニック 羊土社(池上敬一) ② 系統看護学講座 別巻 救急看護学 ③ 系統看護学講座 別巻 クリティカルケア ④ 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論			